

第16期事業年度  
(令和元年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	6,059	6,121	62 (注1)	
施設整備費補助金	2,178	1,520	△ 658 (注2)	
うち補正予算による追加	0	0	0	
補助金等収入	32	143	111 (注3)	
うち補正予算による追加	0	0	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	0	
自己収入	23,425	24,977	1,552	
授業料、入学金及び検定料収入	677	684	7 (注4)	
附属病院収入	22,234	23,948	1,714 (注5)	
財産処分収入	0	136	136 (注6)	
雑収入	514	209	△ 305 (注7)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,149	2,521	372 (注8)	
引当金取崩	137	163	26	
長期借入金	1,291	297	△ 994 (注9)	
目的積立金取崩	518	249	△ 269 (注10)	
計	35,810	36,012	202	
支出				
業務費	28,731	29,167	436 (注11)	
教育研究経費	7,700	7,093	△ 607	
診療経費	21,031	22,074	1,043	
施設整備費	3,490	1,838	△ 1,652 (注12)	
うち施設整備費補助事業	0	0	0	
補助金等	32	143	111 (注13)	
うち設備整備費補助事業	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,149	1,704	△ 445 (注14)	
貸付金	22	22	0	
長期借入金償還金	1,386	1,332	△ 54 (注15)	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	0	67	67 (注16)	
計	35,810	34,273	△ 1,537	
収入-支出	0	1,739	1,739	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階に予定していなかった運営費交付金の繰越および交付により、予算額に比して決算額が62百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階に予定していなかった工事の遅れにより、翌年度補助金への繰越が生じたため、予算額に比して決算額が658百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国及び県からの補助金を獲得したため、予算額に比して決算額が111百万円多額となっています。
- (注4) 主として授業料収入の増等により、予算額に比して決算額が7百万円多額となっています。
- (注5) 患者数・手術件数の増及び新規加算取得等による診療単価の向上等により、予算額に比して決算額が1,714百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階に予定していなかった職員宿舍の売却手続きが進んだことにより、予算額に比して決算額が136百万円多額となっています。
- (注7) 主として内部保有資金取崩の減等により、予算額に比して決算額が305百万円少額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等のうち610百万円は昨年度以前に受け入れて本年度使用した金額となっています。  
また、予算段階で予定していなかった受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が372百万円多額となっています。
- (注9) 予算段階に予定していなかった工事の遅れにより、翌年度への繰越が生じたため、予算額に比して決算額が994百万円少額となっております。
- (注10) 予算段階に予定していなかった工事の遅れにより、予算額に比して決算額が269百万円少額となっております。
- (注11) 診療経費において医療設備更新費及び直接診療費の増等により、予算額に比して決算額が436百万円多額となっています。
- (注12) (注2)に示した理由等により、支出額においても予算額に比して決算額が1,652百万円少額となっています。
- (注13) (注3)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が111百万円多額となっています。
- (注14) 複数年契約等による支出年度の差異により、予算額に比して決算額が445百万円少額となっています。
- (注15) 長期借入金の利率の変更等のため、予算額に比して決算額が54百万円少額となっています。
- (注16) 予算段階に予定していなかった職員宿舍の売却手続きが完了したことに伴い、大学改革支援・学位授与機構へ67百万円納付しています。